岩盤ボーリング柱状図

調査名　一級河川　太田川水系　青ケ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島県山県郡安芸太田町田吹	北緯	34° 33' 05.7840"
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所	調査期間	令和3年 4月22日～ 令和3年 4月26日	東経	132° 12' 27.9629"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 526.67m	角度	180° 上 下 90° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
1				人工材料	暗灰								既設堰堤。硬質な粗石とコンクリートの混合材料(粗石コンクリート)からなる。GL-0.0～0.2m化粧石を含む。GL-0.3m付近から湧水。コンクリートは粗骨材を含む。GL-0.30～4.55m間でセメント部の軟質化箇所が多く確認できる。GL-1.00～4.50m間で10～30cm程度の硬質な粗石を多く混入する。	4/23 無し
2														
3														
4														
5														4/26 5.50
6													GL-6.00～6.40m, GL-7.20～7.70m間でコンクリートは土砂化する。	
7														
8	518.92 / 518.83	7.75 / 7.84		風化花崗岩	淡褐灰	w4	h3	D	IV	c	D		中～粗粒花崗岩。風化し軟質となるが岩組織は明瞭。DH級相当で，指圧で崩れる。	
9				花崗岩	褐灰	w2	h2	B	III	b	CL		中粒～粗粒花崗岩。CL級相当。硬質でハンマーの打撃で軽い金属音がするが，縦亀裂が多く発達している。	
10	516.67	10.00												
11														
12														
13														
14														
15														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		
50以上	10.00	貫入不能		

原位置試験：

室内試験：

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
4/22	37	66/ケーシング	W/D	300	300	0	W2/3	0
				200	300			
	58			150	300			
4/23		66	W/D	250	300			
	29							
4/26								